

そらすずめ

# 奏楽雀

結成：令和4年7月

すずめ踊り、お囃子、お祭り、お酒が大好きな4人で結成。コロナ禍で様々な活動が自粛される中で、今自分たちが出来る事・やりたい事で意気投合しました。お囃子だけの祭連であること、楽しいを伝えたいというコンセプトから、4人で話し合いを重ねてこの祭連名に辿り着きました。シンプルに「奏でたい」そして「楽しい」という思いが込められています。



色：苔色。平安時代からの由緒ある日本の伝統色。現代では「モスグリーン」。

柄：「祭連名」と「音・楽の伝わり」をロゴ化。腰柄に七夕をイメージ。

法被は杜の都にとけ込むような、侘び寂びの風情を感じる色合いにしました。背中のロゴには、「音の広がり・楽しいの波及・すずめ踊りの普及」の思いを込めました。



お囃子だけの祭連であり、また、結成したばかりでもあるので、今は存在と名前を知ってもらう事に力を入れております。合同祭連や助っ人(与力)などで交流をばかり、個別にお声がけをいただいて演舞に参加をしております。

お囃子が少なく「お祭りの参加を諦めなくてはならない」「思うような演舞ができない」などとお困りの時に、気軽に声をかけていただきたいです。

我々がお手伝いすることで、すずめ踊りを「演舞して楽しい」、「観て楽しい」とそれぞれの“楽しい”を一人でも多くの人に感じてもらいたいと想っています。その“楽しい”を波及させ、仙臺すずめ踊りの普及・郷土芸能の伝承に繋げていきたいです。

